

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H27-2号)

平成27年6月12日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成27年6月9日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。

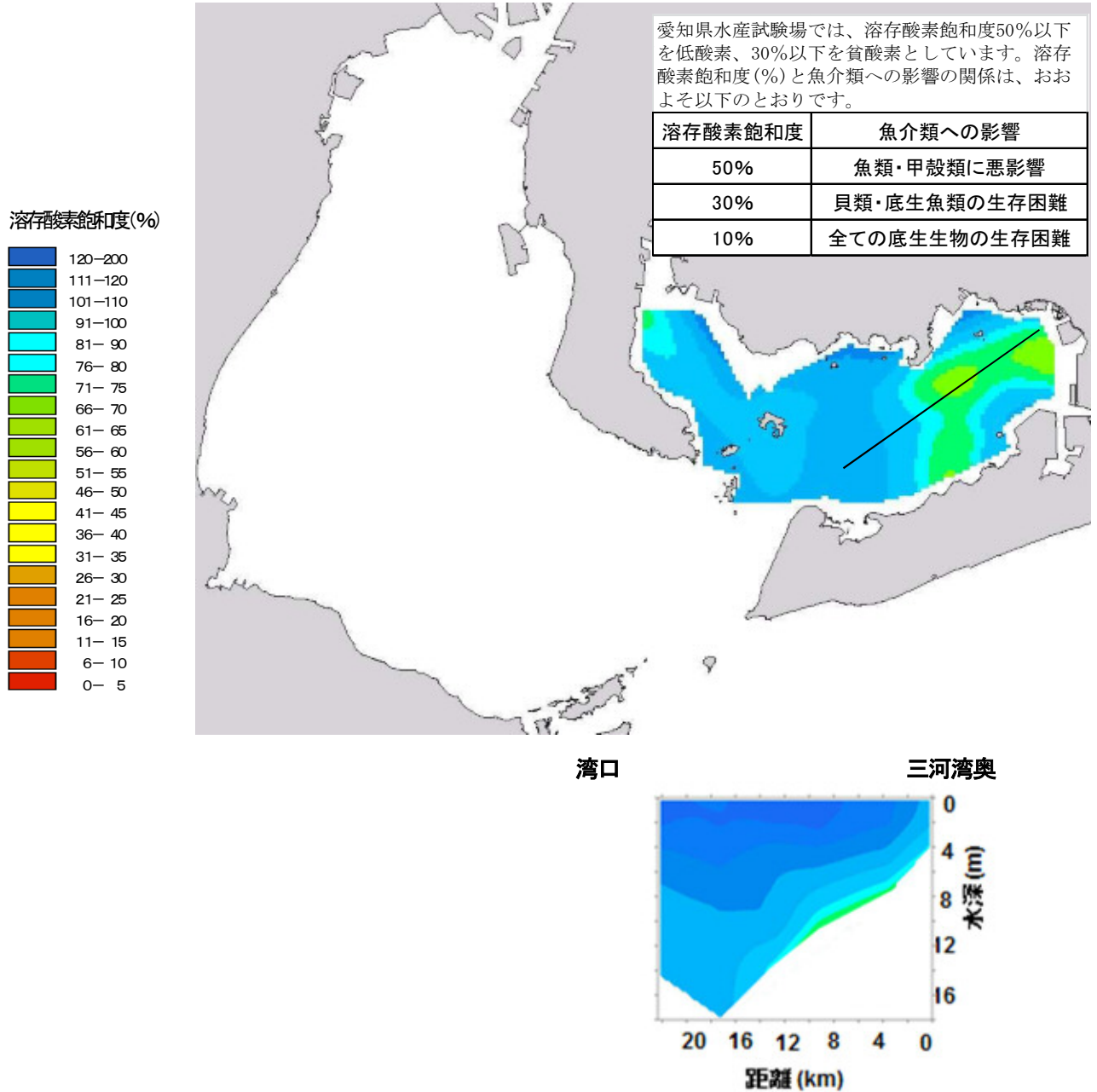


図1 三河湾 (6月9日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

6月9日の調査結果を図1に示しました。前回調査（6月2,3日）で確認された貧酸素水塊は解消していました。

自動観測ブイ（1号ブイ：蒲郡沖）のデータを見ると前回調査後の6月4～5日と今回調査直前の8～9日の風による海水の上下混合によって貧酸素が解消し、表層から底層まで一様な海況となっていました（図2）。

今後は、降雨の影響による表層の低塩分化、水温の上昇により再度、貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)			塩分		
表層	20.3	～	23.4	28.5	～	31.6
底層	18.2	～	20.1	31.4	～	33.1

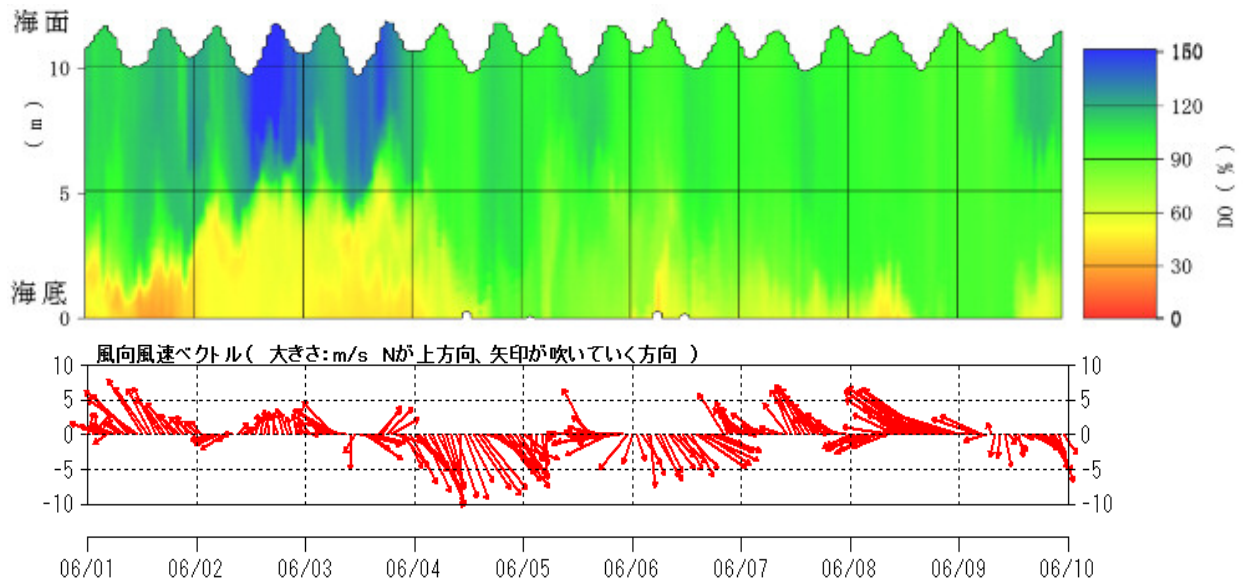


図2 溶存酸素飽和度（上図）と風向風速（下図）の経時変化（自動観測ブイ1号）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

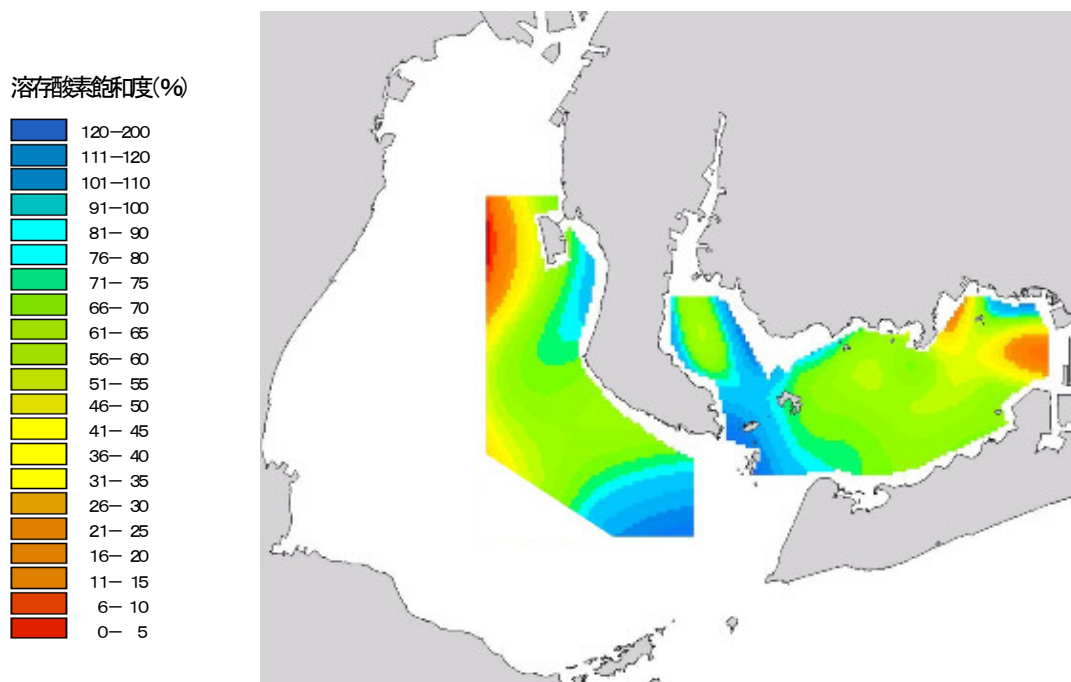


図3 平成27年6月1日（伊勢湾）、6月2,3日（三河湾）